

## ＜塩づくり＞

- 1 時間  
80分
- 2 場所  
グラウンド
- 3 人数・班編成  
120人程度・1釜（1班）6人程度で編成（最大20班）
- 4 服装  
帽子・体操服等の活動しやすい服・運動靴
- 5 費用  
1釜 350円
- 6 準備物

青年の家が準備		( )は数量
班	バケツ（海水採取用）	(1)
	計量カップ	(1)
	底板（鉄板）	(1)
	くど	(1)
	鍋	(1)
	火ばさみ	(1)
	かき混ぜ棒	(1)
	薪	(4本程度)
	木切れ	(少々)
	着火剤	(1)
	作り方ファイル	(1)
	うちわ	(1)
	軍手	(1)
ビニル袋	(1)	
スプーン	(1)	
団体	ガスマッチ	(2)

◎複数校が同研修時間を希望した場合は、班数（釜数等）を協議の上決定します。

◎軍手は必要数に応じて団体に準備してください。

### 7 研修の流れ

内 容	時間 (分)	研修生の動き	引率者の動き・留意点
説 明	5	○ファイルを見ながら、作り方の説明を聞く。 ○グループごとに用具を準備する。	○ファイルを見せながら、作り方を説明する。 ○用具を渡す。
準 備	15	○海水を取りに行く。 ○海水を1ℓ計り取る。  ○火をおこすために、くどに着火剤・木切れ・薪を組む。  ○準備ができたなら、火をつけてもらい火をおこす。	○安全に注意をさせる。 ○鍋に海水を入れてから火をおこす。 ◎海水を多く入れ過ぎない。 ○火をおこすときは、着火材を置き、その上に木切れを乗せ、その上に薪を組む。  ○準備ができた班から火をつける。
活 動	40	○海水1ℓを煮詰める。 ○火が弱ければ薪をつぎ足す。 ○海水をかき混ぜながら、鍋の縁に付いた塩をかき混ぜ棒で削り落とす。 ○鍋の中の海水の変化を観察（メモ）する。 ○煮詰まってから3分経った後、鍋を火から下ろす。	○やけどには、十分注意をさせる。 ○薪を入れ過ぎないように注意する。 ○海水をかき混ぜたり、縁に付いた塩を削り落としたりするときに、やけどに注意する。 ○鍋を下ろすときは、周りに人がいないか十分確認するよう注意する。 ◎できた塩は研修生に食べさせない。
片付け	15	○片付けの手順を聞く。 ○冷ました塩をビニル袋に取る。  ○鍋を足洗場で洗う。 ○用具を全て片付ける。	○片付けの手順を説明する。 ○やけどには、十分注意させる。 ◎塩が熱いと袋が溶けるため注意  ○灰を一輪車にまとめ、水をかける。
まとめ	5	○まとめの話を聞く。	○まとめの話をします。